

## 支部長懇談会報告



後援会副会長  
小池 旭  
(修平/現代福祉学部)

6月3日(金)ポアソナード・タワー26階「スカイホール」にて、30支部の支部長および役員に参加をいただき支部長懇談会が開催されました。池邊後援会会長のあいさつの後、参加された支部の方により「新入生父母の集い」および夏に行われる「支部総会・父母懇談会」の実施状況や準備についての意見交換を行いました。また、今回は東日本大震災で被災された支部の方には



震災の状況や震災後の対応についての話もしていただきました。震災の影響で「新入生父母の集い」「支部総会・父母懇談会」の開催ができるのかどうかと不安でしたが、どの支部からも、こんな時こそ行うとの強い意思表示があり安堵しました。特に気になったのは、震災当日から父母間の連絡がまったく取れなくなったケースもあり、支部内での学生同士の連絡網の整備も必要であるとの意見でした。直接被災していない支部においても、今回の大震災に関わる発言が多かったように思いました。最後に久保田副会長のあいさつで閉会しました。



## 支部長会議報告



後援会副会長  
寺林 治美

6月4日(土)外濠校舎「S306教室」において、全国36支部の役員並びに本部運営委員が参集し「支部長会議」が開催されました。大学の状況を徳安彰常務理事よりお話しいただき、続いて支部活動報告・運営への提案・2011年度後援会事業計画概要報告・支部からの意見要望などが行われました。最後にキャリアセンターからの就業力育成支援プログラムについての説



明、学生からは震災支援活動報告もあり、今後の支部活動活性化に向け熱意に満ちた会となりました。  
東日本大震災被災支部からの二日間におたる現状報告では、厳しく困難な現実の中で復興に向け懸命に歩んでいる方々の温かい励ましや、協力を惜しまない士気にふれ、後援会が一丸となり進んでいることを確信しました。支部役員は「支部総会・父母懇談会」で会員の皆さまをお迎えするための準備を進めています。是非ご参加いただき、法政のきずなをご実感ください。



## 総会報告



後援会副会長  
齊藤 彦明

6月4日(土)、外濠校舎「薩埵ホール」において、来賓に井上茂秋校友友連合会副会長、山内朗弘後援会クラブ副会長をお迎えし、全国から各支部長はじめ多数の会員が出席して、2011年度総会が開催されました。

最初に社会学部の稲増ゼミが作成した学生、OG・OBによる東日本大震災の「被災地応援メッセージ」が上映され、出席者全員が犠牲になられた学生、会員、多くの皆さまに対して黙祷して哀悼の意を表しました。開会にあたり池邊後援会会長は被災地の一日も早い復旧復興を願うとともに、後援会として被災会員の会費を減免し、被災学生を全力で支援していくとあいさつされました。

議事では、2010年度事業報告・決算(案)、2011年度事業計画(案)・予算(案)など7つの議案が審議され、質疑を行った後全議案が承認されました。

2010年度事業報告・決算(案)では、多摩キャンパスで使用される大型バスの寄贈、校友連合会との共同企画による「法政フェスタ・絆」の実施、監査の独立性を確保するための後援会組織の改編など特筆す



会場の薩埵ホール



2011年度新運営委員



渡邊2010年度会長より今村新会長へ襟が引き継がれる

べき活動のほか、父母懇談会の実績、支部の周年事業、支部のキャンパス見学などについて報告されました。

2011年度事業計画(案)・予算(案)では、学生にとつての厳しい就職状況、未曾有の震災により学位授与式や2011年の入学式が中止されたことを踏まえて、学生が安心して大学生活を過ごし自立した大人として成長し社会に羽ばたけるよう積極的な事業が計画されています。特に東日本大震災の被災学生を支援するため、学生支援積立金を利用して総額5千万円の「東日本大震災学生支援費」を新たに設置しまし

た。2万円の「見舞金」、1千万円の「法政大学後援会奨学金に特別枠設置」、修学に困難を来している被災学生に年額30万円以内を給付する「修学特別支援」により被災学生を支援します。通常の学生支援についても緊急性や先駆性等を重視して新たに「学生のためのピアサポートコミュニティ」事業や「学習支援のための市ヶ谷ラーニング・グロモンズ」運営等を支援します。また、父母懇談会は父母・保護者の要望に応じて個別相談等の充実を図り、広報面では後援会ホームページを使いやすく、充実した情報が提供できるようにリニューアルします。

2011年度の新役員には、今村浩後援会会長をはじめとして副会長、総務、監査、常任幹事および幹事に89人が選出されました。最後に増田壽男法政大学総長と今村後援会会長から退任役員に感謝状が贈られ、総会は無事終了しました。  
「子供の母校は我が母校」を合言葉に、法政大学と学生を支援する一番の応援団である法政大学後援会の65年の伝統と地道な活動の「襟」が引き継がれた総会となりました。

# 2011年度 法政大学後援会運営委員



写真前列向かって左から

小木曾 睦子 総務、水品 孝一郎 副会長、今村 浩 会長、小池 旭 副会長、奥山 孝夫 副会長

後列左から

掛巢 信樹 総務、齊藤 信幸 総務、渡邊 秀雄 総務、千葉 大一 総務、植草 茂伸 総務、水上 智美 総務、奈良 陽子 総務

## 2011年度 後援会役員

会長	今村 浩
副会長	水品 孝一郎、奥山 孝夫
総務	小木曾 睦子、渡邊 秀雄、掛巢 信樹、植草 茂伸、奈良 陽子、水上 智美
常任幹事	千葉 大一、齊藤 信幸
4年	岡崎 久美子、小沼 広美、古泉 まり、高垣 千都子、平野 裕子、依田 身知子
3年	近江 秀晴、岡 雅代、川田 誠一、土屋 満里子、鶴岡 正敏、富岡 透
2年	相原 啓子、川口 利治、榊 純一、菅原 明博、戸松 みゆき、山下 奈穂美
4年 幹事	新井 千鶴子、梅村 昇、金城 秀喜、工代 将章、熊谷 賢次、上月 正美
3年	佐藤 香、早川 香代子、星野 富貴子、森島 統子、木田 修二、設楽 和宏
3年	天野 尚文、石川 清美、大橋 芳郎、加藤 伊知郎、木田 修二、設楽 和宏
2年	飯島 仁、石原 秀子、菅野 真理、栗田 悦男、清水 水一、小島 洋明、小島 優子
1年	渡橋 祐太郎、河西 敏靖、熊田 敏文、高坂 信貴、須藤 貢一、須藤 裕一、須藤 裕一、須藤 裕一
監査	大野 和人、遊佐 尚子、森 隆司、山田 豊美

## 体育会応援10 【水泳部】

### 親からのメッセージ

※( )内はお子さまの名前/学部



小坂 達・智子 (悠真/キャリアデザイン学部)

先日行われた「ジャパンオープン2011」にて、200m個人メドレー、1分59秒12のベストタイムで優勝することができました。この結果にいたるには、順風満帆な道ではありませんでした。

悠真が水泳を始めたのは、小学2年の時。幼いころからスイミングスクールに通っていたものの、兄と一緒に習っていたサッカーに移行するものと思っていました。ところが、親の思いとは異なり、スイミングのコーチの誘いから自分で「選手コース」に行くこと決めて、サッカーは辞め、毎日泳ぐ生活へと変わりました。当時の種目は、バタフライとフリーで小学4年からジュニアオリンピックに出場。小学5年の時、あこがれのミスターバタフライこと山本貴司選手が出場するインカレが横浜国際プールで開催されました。応援に行き、出会えた感激は忘れられない思い出となりました。

中学では部活としてではなく、コナミ中央林間にてクラブ練習となりました。この時、法大進学（指針となった末永雄太選手（法大OB・北京五輪選手）と一緒に練習し、高い意識を持つことができました。中学2年より全国中学大会に出場し、中学3年では地元横浜開催でした。本人は、優勝する気満々でしたが、結果が伴いませんでした。水泳の技術と意味を再考し、湘南工科大学附属高校に進学しました。種目も個人メドレーに変

高校2年のインターハイでは、200m個人メドレーで優勝し、10年ぶり2回目の総合優勝をすることができました。高校3年では、副将として連覇したものの、総合優勝を逃し、また挫折を味わうこととなりました。

法政大学へは、八塚明憲監督の「水泳は人間形成の道なり」の指導方針に共感し、またキャリアデザイン学部への魅力を感じて進学しました。法大水泳部は、大学練習組とスイミング練習組がいます。悠真は、コナミ東日本の堀之内コーチの指導のもと練習し、時々大学練習もしています。大学2年、熊本インカレで30年ぶり3度目の総合優勝となり、私共も天皇杯に触れることができました。昨年は、インカレも連覇ならず、本人も好結果に繋がらない1年となってしまいました。しかし、挫折をバネに、今年再び結果を出し、ユニバーシアード代表に選ばれま

した。代表男子18人のうち何と6人が法大選手、およびOBです。さらにヘッドコーチは八塚監督です。本当に法政は凄いです。9月には、インカレがまた横浜で開催されます。貴司さんと出会った時と同じ4年という学年で、同じ会場という運命。どんな戦いを見せてくれるのか、今からワクワクしています。

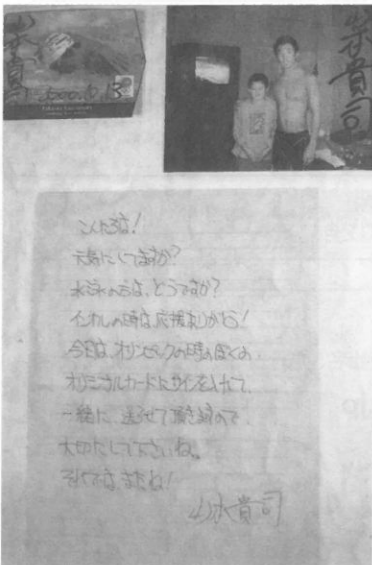
悠真の水泳人生は、監督のモットー通りより大きな人間に成長させていただいたと思います。多くの挫折を味わっても続けてくれたのは、監督・コーチ・先生・諸先輩や仲間のおかげです。多くの人々に感謝することを決して忘れず、さらなる飛躍を願っております。



2000年10月6日～8日 第76回インカレ（横浜国際プール）。山本貴司選手（大4）と悠真（小5）との出会い



2011年5月22日「ジャパンオープン」200m個人メドレー優勝



山本貴司選手からのお礼の手紙

## 後援会ホームページのご案内

URL: <http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。(6月にリニューアルしました。)

## 「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、アメフト甲子園ボウルや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp